

学力向上のための 教育DXを



大森 不二雄

令和3年6月29日
大阪市総合教育会議



科学的根拠に基づくICT活用

ICT活用は、やみくもに試行錯誤するのではなく、**学力向上等教育効果の科学的根拠(エビデンス)**のある使い方に焦点化すべき。

- **学習者の理解度等に応じて即座に個別最適化したフィードバックを行うアダプティブ・ラーニング型のデジタル教材を活用。**
- **読解における紙のデジタルに対する優位性に鑑み、教科書など纏まった文章は紙で読む。**

授業内外でデジタル教材を活用し、 自律的な学習習慣の確立を！

- 学力向上及び生涯にわたって学び続ける力にとって、**授業時間外の自学自習の習慣**が決定的に重要。
- **端末持ち帰り学習**は必須。その際、子供の自主性と家庭の自助努力に委ねてしまうと、**学力格差の拡大**に。
- **授業にデジタル教材を活用した自学自習を組み込む**ことで、**習慣化**を図るべき。
- **教科ごとに標準的な活用モデル**(授業での活用場面＋持ち帰り学習)の構築を。



教育DXで重要性を増す教員の役割： 学習活動の設計

- **デジタル教材による自学自習は、自律的学習能力を必要とする。発達段階に応じて徐々に自律性を高めていく。**
- **これからの学校教育では、教育・学習設計、すなわち、児童生徒の学習活動をデザインするという発想が大切。**
- **教育・学習設計においては、デジタル教材の位置付けが重要となる。**



教育ビッグデータの活用

- **デジタル教材**を活用した一人ひとりの学習履歴や学習行動記録等の教育ビッグデータを集積。
- 本市で小学校3年生から中学校3年生まで経年的に分析可能になっている**学力調査・テスト**
- **児童生徒ごと、学級ごと、学校ごとに、データの変化を可視化し、これを専門的見地から分析**
- **教育の成果と課題**を見える化し、効果的な指導方法や学習行動などの知見を得る。



教育DXの行動計画を！

端末がホコリをかぶらないよう、最初が肝心。
デジタル教材活用等の行動計画を急ぎ策定すべき。

- **全市レベルの行動計画**
- **各学校の行動計画**
- **教職員の悉皆研修を！**
- **学校・教員・子供の使用状況の実態把握を！**